

調べかたのコツ

高校生のための図書館講座「LibCo」 大阪府立中央図書館作成 2021.9

● 今日の内容

- ・レファレンスサービスって何？
- ・情報と資料の関係
- ・図書館の資料で調べるコツ

目標

情報を効率よく集めるコツを知る

● レファレンスサービスって何？

→ 図書館職員が図書館でアクセスできる資料を使って **調査の援助** をするサービス
★みなさんの **知る権利** を保障するために図書館はサービスをしている。

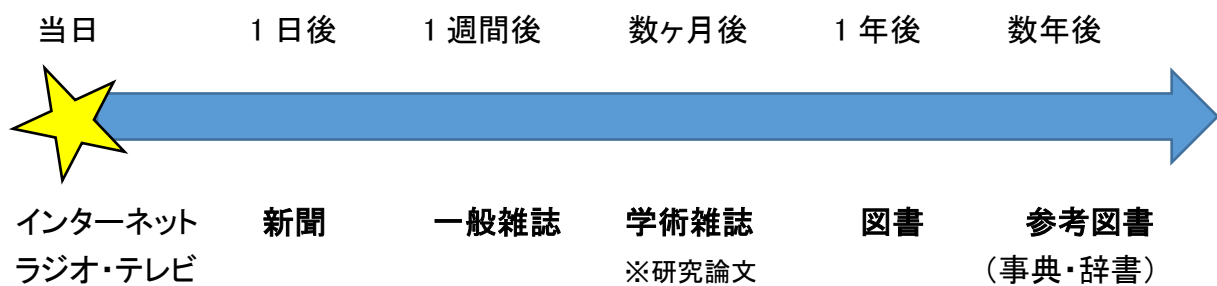
- ・レファレンス協同データベース <https://crd.ndl.go.jp/reference/>
国立国会図書館が全国の図書館等と共同で作っている調べものためのデータベース。
- ・大阪府立中央図書館調べ方ガイド <http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/shirabe-index.html>
よく探されるテーマについて調べものをするときに便利な資料を紹介している。

みなさんが調べものをするとき

- 学校の宿題のレポート、発表準備、ディベート準備、課外活動など
*自分の考えに説得力を持たせるための信頼性の高い客観的情報が必要

● 情報と資料の関係

出来事が起こってから……



★調査の時に気になったことは **メモ**をする。

● 参考図書

利点

- ・信頼性が高い
- ・整理された簡潔な情報を得られる
- ・基礎情報の確認ができる

注意点

- ・新しい情報は未収録
- ・出版されるまでに時間がかかる

・調査の時にすること : **基礎情報の確認**、キーワード収集

同義語、省略形、関連する用語、一般化した用語、より広い概念を表す用語 など

・調べ方のポイント

① **凡例** (はんれい): その本の取扱説明

② **索引** : 語句を選び出して一定の順序に並べ、どこに載っているか示したもの

★参考図書の例★

(1) 事典: 事がらを説明しているタイプの参考図書

●『日本大百科全書』(小学館)

全 26 冊の百科事典。必要に応じて末尾に参考文献あり。図や写真が多くカラフル。

新しい情報は「コトバンク」(▶参考)で毎月更新されている。

*分野を問わず、数々のレファレンスの下調べ(基礎情報の確認)で活躍しています！！

●『国史大辞典』(吉川弘文館)

全 17 冊の歴史に特化した百科事典。必要に応じて末尾に参考文献あり。図版や系図なども豊富。

*こんなレファレンスで活躍しました！

「太閤検地の実施時期が知りたい。」

「小説を書くための資料として昭和時代の侍従武官の仕事内容について詳しく知りたい。」

(2) 辞典: 読み方や意味・語源・用例などを解説しているタイプの参考図書

●『日本国語大辞典』(小学館)

全 14 冊の国内最大級の国語辞典。意味の解説だけではなく、用例や語源も掲載されている。

*こんなレファレンスで活躍しました！

「年齢の別名(みそじ、よそじなどの言い方)で、九十歳を表す言い方は何か」

(3) 年鑑・統計: 一年間の出来事やデータがまとめられて、年に 1 回刊行されるタイプの参考図書

●『日本統計年鑑』(総務省統計局)

社会に関する広い分野にわたる統計データを収録している統計集。事項索引がある。

*こんなレファレンスで活躍しました！

「平成 23 年～25 年間のカーネーションの出荷量の推移を調べています。」

●『理科年表』(国立天文台)

科学の全分野(物理、化学、地学、生物、環境など)のデータブック。

*こんなレファレンスで活躍しました！

「2018 年の日食と月食はいつあるか知りたい。」

▶(参考)役に立つ用語解説のサイト コトバンク <https://kotobank.jp/>

実績のある出版社などが出版した百科事典や辞書を一度にまとめて検索できるサービス。

情報は随時更新追加されている。

●図書

利点

- ・信頼性が高い(複数の目による編集)
- ・一定以上の量の情報を得たいとき有効
- ・内容を一覧できる方法がある
- ・重要度の高い本→繰り返し出版

注意点

- ・出版されるまでに時間がかかる

- ・おすすめの図書:入門書、新書 例 :ちくまプリマー新書・岩波ジュニア新書・講談社ブルーバックス
- ・探し方のポイント :①キーワードの選択 *検索結果にも注意 ②本棚を直接見る
- ・図書を見るときのポイント :目次、索引、参考文献(その本を書くために参考にした資料)
- ・奥付(おくづけ):タイトル、出版社など、その図書の情報を書いているページ

●雑誌

利点

- ・情報の信頼性が比較的高い
- ・図書に比べて新しい情報
- ・特定のテーマについて知ることができる

注意点

- ・特定のテーマの論文を網羅的に検索するのは困難

- ・一般雑誌記事の特徴 :時事問題に強い、審査のような検証をされていないものもある。
- ・学術雑誌論文の特徴 :掲載前に審査がある(信頼性:高め)、研究に時間がかかる
- ・調べ方のポイント
 - ①蔵書検索では個々の雑誌論文・雑誌記事を探せない →別の方法で探す
 - ②キーワードの選択 (特に学術雑誌論文) 例:大学 →高等教育機関、子供 →乳幼児・児童
- ・学術雑誌論文を探す方法の一例

▶CiNii Articles <https://ci.nii.ac.jp/> ※2022年4月1日より、CiNii Research に統合予定

日本の学術論文を中心とした論文情報を収録している。

*雑誌記事・論文情報の特徴

『月刊生徒指導』50(2), 20-23, 2020-02 →掲載されている **号数** の情報がある

●新聞

利点

- ・次の日には情報が発信される
- ・内容の信頼性が比較的高い
- ・多くの人に共有されている
- ・毎日発行 → 過去の膨大な記録

注意点

- ・必ずしも中立ではない
→読み比べることで多くの視点から情報を得られる

- ・図書館で使える新聞の形態 :本紙、縮刷版、**新聞記事データベース**

・新聞記事の調べ方のポイント

- ①キーワードの選択 : 社会一般に通用する言葉か
- ②言葉の省略 : 1990年頃よりも前の新聞記事をデータベースで検索する時 例 : ワールドカップ

●インターネット

利点

- ・最新情報がある
- ・手軽に検索ができる
- ・音声・写真・動画を調査できる

注意点

- ・誰が書いたのかわからない情報もある
- ・情報要求にあったものかわからない
- ・通常の検索でヒットしないページもある

・調べ方のポイント

- ① だれが発信した情報か? →ドメインを確認して判断する
例: lg.jp(日本の地方公共団体)、go.jp(日本の政府機関など)、ac.jp(日本の大学など)
- ②いつの情報か?

・有用な情報源

- ・国立国会図書館サーチ <https://iss.ndl.go.jp/>
- ・おおさかポータル <http://www.library.pref.osaka.jp/site/osakaportal/index.html>

この講座のまとめ

- ・図書館では人も活用できる (レファレンスサービス)
- ・整理された情報から確認すると効率がいい
- ・基礎情報の確認は手を抜かない (特にキーワードの確認)

【参考文献・おすすめ情報源】

●レポートや発表のために

- ・『大学生学びのハンドブック:勉強法がよくわかる!(5訂版)』(世界思想社 2021.2)
- ・『探究に役立つ!学校司書と学ぶレポート・論文作成ガイド(なるには BOOKS)』
(東京都立高等学校学校司書会ラーニングスキルガイドプロジェクトチーム/編著 ぺりかん社 2019.11)
- ・『学びの技.:14歳からの探究・論文・プレゼンテーション(YOUNG ADULT ACADEMIC SERIES)』(後藤芳文/著 玉川大学出版部 2014.11)
- ・レポート・論文書き方入門[東京都立図書館](2021/8/4 確認)
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/support_school/research/for_study/report_guide/tutorial/

●情報収集のために

- ・『スキルアップ!情報検索(新訂第2版)』(中島玲子ほか/著 日外アソシエーツ 2021.1)
- ・『資料検索入門:レポート・論文を書くために』(市古みどりほか/編著 慶應義塾大学出版会 2014.1)
- ・『キーワード検索がわかる(ちくま新書)』(藤田節子/著 筑摩書房 2007.10)
- ・図書館員が選んだレファレンスツール 2015 参考図書の一部ランキング[日外アソシエーツ](2021/8/4 確認)
https://www.nichigai.co.jp/cgi-bin/ref2015_result.cgi
- ・大阪府立中央図書館 分野別リンク集(2021/8/4 確認)
<http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/subjectrink.html>